

新潟県リコーダー教育研究会 会報 H25-1号

平成25年 7月18日(木) 発行

# さえずり



新潟県リコーダー教育研究会 会長 小池 純夫  
(南魚沼市立塩沢小学校 教頭)

## 音楽の力は…

小池 純夫



「音は、単なる空気の振動です。」理科的なとらえをすると、そういうことになります。しかし、私たちは、小鳥のさえずりや小川のせせらぎに心を癒されたり、音楽を聴いた時、楽しさや優しさ、悲しみや激しさなどを感じたりします。つまり、音楽は、人間の表面的な部分ではなく、心の奥底、魂といわれるような部分に働きかける不思議な力をもっているのではないのでしょうか。

10年ほど前のことです。新日本フィルのフルート奏者が学校の音楽室で、5・6年生を対象にコンサートをしてくれました。3時間目、子どもたちは興味深く聴き入り、コンサートは終了しました。後から、担任が、「4時間目は算数だったのですが、子どもたちがとても集中して学習に取り組んだので、びっくりしました。いい音楽を聴くと、集中力も高まるんですね…」と、私に語ってくれました。

また、ある学校でのことです。週1度あるロングの昼休みの後、グラウンドや体育館で思い切り遊んだ子どもたちは、5時間目が始まって落ち着くことができず、授業がなかなか始められませんでした。そこで、昼休みを10分間早く切り上げ、静かな音楽を流すことにしました。その間に、子どもたちは手洗いうがいをし、授業の準備をします。すると、落ち着いた静かな雰囲気、授業が始められるようになりました。

これらは、耳から入ってきた音楽が集中力を高めたり、落ち着いた雰囲気を作ったりすることにつながった例です。音楽の力を信じるなら、子どもを取り囲む音や音楽は、優しく、穏やかで、美しいものでありたいと思います。また、音楽室で子どもが表現する音もそうありたいですね。優しく美しい音や音楽は、子どもたちの優しく美しい心を育ていくことでしょう。

今、学力向上が叫ばれる中、音楽の時間はどうあったらよいか、話題になることは、ほとんどないように感じられます。しかし、音楽は、学力向上や生きることのベースとなる部分を育てる大切な教科だと、私は考えています。音楽の時間、音を大切に、ていねいに歌わせ、演奏させていきましょう。美しい歌声や、美しいリコーダーの音色が、よりよく生きようとする子どもを育てることにつながると信じています。

さて、5月18日に総会が開かれ、今年度の活動が決まりました。リコーダーコンテストは、南沼市民会館での開催となります。初めての会場となりますが、よろしくお願ひします。この1年間、当会の活動を一層充実させ、日々の音楽授業や私たち自身の音楽活動の充実につなげていきましょう。



# 平成25年度 新潟県リコーダー教育研究会 事業計画

- 理事会 4月 6日(土) 高齢者センター今朝白
- 総会 5月18日(土) 長岡リリックホール

上記、総会にて、今年度の事業計画が決定しましたので、お知らせいたします。

## 例会

各会で講師先生から指導をしていただきます。

- ・ 春の総会 5月 18日(日) 講師 樋熊 三津男 先生
- ・ 夏の例会 7月 6日(土) 講師 北村 正彦 先生
- ・ 秋の例会 9月 21日(土) 講師 金子 健治 先生
- ※ 会員外にも参加案内をする。会員外受講費：1,000円。
- ・ 冬の例会 2月 8日(土) 講師 本村 睦幸 先生

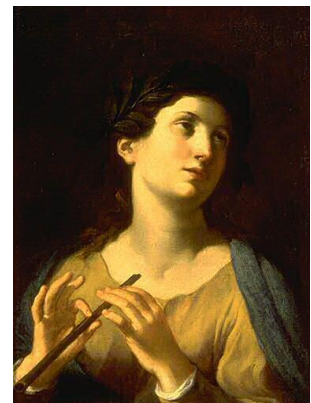
## 第40回 夏季リコーダー研修会

◆ 全くの初心者の方も安心してご参加ください。

- ・ 期 日 **8月9日(金)・10日(土)**
- ・ 会 場 魚沼市 小出郷文化会館(大・小ホール)
- ・ 受講料 12,000円(会員は、10,000円) 1日のみは半額。
- ・ 宿 泊 **なし** 希望者には幹旋(折立温泉 ホテル「ゆのたに荘」)講師を囲む会有り
- ・ 講 師 金子 健治 先生 / 北村 正彦 先生
- ・ **申込締切 7月19日(金)**

## 第39回 新潟県リコーダーコンテスト

- ・ 期 日 11月30日(土)
- ・ 会 場 南魚沼市民会館大ホール
- ・ 審査員(敬称略)…金子健治・北村正彦・本村睦幸・県審査員
- ※ 案内・申込書は県リコHPに掲載
- ・ **申込締切 9月6日(金)**です。



## 会報

- ・ 年3回発行。各例会の時
- ・ **会報はホームページ上で公開します。**
- ・ 県リコHP <http://music.geocities.jp/nrshomepage/>
- ・ **投稿記事をお寄せください。**

## その他

- ・ 平成24年度 役員一覧は、県リコHPをご覧ください。
- ・ **新会員の勧誘をお願いします。** みなさん一人一人、自らの手で。若返りと会の存続のために。
- ◆ **大阪リコーダー教育研究会 会長 三木貞夫先生が見えられます。**
- ・ **7月27(土)・28日(日)**開催、先天性四肢障害児父母の会全国大会 新潟大会の**リコーダー相談会**の講師として、三木貞夫先生が見えられます。

- ・ リコーダー相談会は、**27日 13:00~15:00、長岡グランドホテル**にて開催。知人の方に関係者の方がいましたら、お知らせ下さい。
- ・ 県リコにお手伝いできることがあります。参加できる方は、樋熊までお知らせ下さい。



## 全日本リコーダー教育研究会 理事会報告

全日本 小池副会長

- ・ 理事会は、3月27日に開催
- ・ 平成25年度 全日本コンテスト 会場：江戸川総合文化センター 期日：3月30日(日)
- ・ 全日本リコーダー教育研究会 創立40周年記念事業(h25は41年目)  
11月23(土)・24日(日)にイベントを開催する予定。内容未定。
- ・ 今後の全日リコ全国研究大会は、未開催県で。新潟県も2~3年後？



## クラシックストリート・長岡・音、おと、オトの街公演に参加して

榊原 紀子(大河津小学校)



5月に「新潟クラシックストリート」と「長岡・音、おと、オトの街公演」にリコ研メンバー10名で参加してきました。

2月頃から練習が始まりました。練習に参加できない日もありましたが、自主練習に活かせるようにと、リーダーの樋熊先生が練習の音を送って下さいました。息の出し方・吹き方など、モーツァルトの背景を考えたアドバイスもたくさんしていただきました。10人がそろって練習できた日は少なかったのですが、練習を重ねる毎に、8フィートの重厚な

響きを感じられようになってきました。

2日間で3回のステージを踏みました。新潟市音楽文化会館のステージ、個人経営のギャラリーmu・an、アトリウム長岡(吹き抜け)とすべて会場は違いましたが、きっと素敵な音の響かすことができたのではないかと思います。

長岡の2会場ともに聴きに来てくださった方がいました。一緒に演奏した仲間の家族かと思ったのですが、まったく関係ない方でした。「リコーダーの演奏を聴くのが大好きで、午前中に聞いたモーツァルトが素敵だったから、また聴きにきたのよ。」という温かいお言葉。メンバーについて行くのがやっとの自分でしたが、この一言がとてうれしく心に響きました。ステージ上の緊張感はとてつもなく大きいのですが、達成感も同じように大きく味わうことが出来ました。

久しぶりに感じました。人に聴いてもらうっていいことですね。

庭野 史子(片貝小学校)

ごまかしが効かないイメージから、これまでどちらかというとクラシックに消極的であった私にとって、今回のモーツァルトの弦楽五重奏曲 第2番との出会いは、クラシックの大曲への初めての挑戦となりました。

なかなかまとまった練習ができず、個人的な技術の進歩は遅々たるものでしたが、合奏の練習では回を重ねるごとに響きが変わっていくのが実感できました。一つ一つの音の役割を考えながら演奏することで、旋律がくっきりと浮かび上がり、ハーモニーが豊かに響き合うのを感じ、曲

を創り上げていく楽しさや奥深さを体験することができました。

本番の演奏は、新潟市立音楽文化会館、(長岡市)ギャラリーmu・an、アトリウム長岡の3会場で行いました。それぞれ、ホールの響きもお客さんとの距離感も違い、演奏した時の印象が全く異なりました。一緒に演奏しているメンバーの息遣いを感じて気分が高揚したり、思わぬハプニングに動揺したり…と3つのステージ、どれもが練習とはまたひと味違う、ドラマチックなものとなりました。四ヶ月に及ぶ練習の成果を全て出し切った演奏とはなりませんでしたが、それぞれの会場の響きやお客さんとの空気を感じながら、演奏を楽しむことができました。今回味わったモーツァルトの心地よさを忘れずに、これからはもっと身近にクラシックを楽しんでいきたいと思えます。



#### 《補足：編集》

5月5日、「第3回 新潟クラシックストーリー～ラ・フォール・ジュルネ 2013 関連イベント」、5月6日「長岡・音、おと、オトの街 公演」。演奏曲は、W. A. モーツァルトの弦楽5重奏曲 第2番 第1～4楽章。

パートは、S：樋熊三津男 T：渋谷芳明  
A：亀貝隆 B：森嘉雄  
T1：庭野史子 GB1：阿部光宏  
T2：上村弥 GB2：榊原紀子  
B：皆川昌雄 CB：小池純夫。

新潟県リコーダー教育研究会で、こんなにきちんと大きな曲を、長い期間を掛け、公衆の面前で演奏したのは、初めてではないかと思えます。



本番を聴きに来てくださった知人の方々から、おほめの言葉をいくつもいただくことができました。練習の過程での出来と本番の違いは、自分たちでもよく分かる程よくできました。みなさんの演奏力が、結集し高め合った結果だと思えます。手前味噌ですが、本当に素晴らしかったです。

今回、前述の2つの本番に推薦を受け、メンバーに名を連ねてくださった皆さんが、賛同してくださったので、晴れて参加することができました。しかし、4ヶ月もの長い練習期間、しかも冬場です。リリックスタジオで、10回位の練習でしたでしょうか。

団体名に新潟県リコーダー教育研究会として会のアピールも兼ねました。但し、長岡は、事務局との連絡不足で「10人のリコーダーアンサンブル」になっていました。

映像を撮りました。編集を早めにして、皆さんにも観ていただけたらと思えます。



#### <<編集後記>>

今年度、待望の新会員が入会しました。堀之内小学校の吉村智宏先生です。みなさんからの温かい支援を宜しく申し上げます。

この第1号、発刊が1週間遅れてしまいました。原稿依頼を間際にしてしまい、お願いした皆様に、大変ご迷惑をおかけしました。ここにお詫びを申し上げます。お許してください。

◆ 記事の投稿いつでもお待ちしております。[mitu3tu@gmail.com](mailto:mitu3tu@gmail.com) です。編集 [樋熊]

